

日本老年看護学会第19回学術集会 ご案内

- ・会期：2014年6月28日(土)・29日(日)
- ・会場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち
- ・学術集会長：百瀬由美子(愛知県立大学)
- ・メインテーマ：高齢者が主体的に生きることを支える
老年看護学の探求

[主なプログラム]

■6月28日(土) 13:00~17:30

会長講演「高齢者が主体的に生きることを支える老年看護学の探求」

演者:百瀬由美子(愛知県立大学)

座長:小西美智子(岐阜県立看護大学)

特別講演「高齢者と家族の意思決定を支える—最期まで自分らしく生きるために—」

演者:清水 哲郎(東京大学大学院人文社会系研究科)

座長:百瀬由美子(愛知県立大学)

海外招聘講演「Mental Health Care for Family Caregivers of Older People with Dementia」

演者:Theresa A. Harvath, PhD, RN, CNS, FAAN
(Oregon Health & Science University, School of Nursing)

座長:金川 克子(NPO いしかわ在宅支援ねっと)

ワークショップ「高齢者うつ病のケアを考える—身体疾患、認知症との関連から」

企画:身体疾患患者へのメンタルケアモデル開発ナショナルプロジェクト

■6月29日(日)9:00~17:00

教育講演 1「科学的視点に基づく介護予防—高齢者の生活機能の維持と向上を目的として—」

演者:鈴木 隆雄(国立長寿医療研究センター)

座長:堀内 ふき(佐久大学)

教育講演 2「認知症高齢者の持てる力を引き出す看護」

演者:鈴木みずえ(浜松医科大学)

座長:湯浅美千代(順天堂大学)

シンポジウム「高齢者の意思を尊重した地域包括ケア」

シンポジスト:

宇都宮宏子(在宅ケア移行支援研究所)

大島 浩子(国立長寿医療研究センター)

梨木恵実子(群馬県看護協会訪問看護ステーション)
杉山みち子(神奈川県立保健福祉大学)
座長:大塚真理子(埼玉県立大学)
山田紀代美(名古屋市立大学)

※事前参加受付は2014年5月15日(木)までです。

※詳しくは学会ホームページをご覧ください。

日本老年看護学会 ワークショップ 2014 ご案内

・日時：2014年6月27日(金)・学術集会前日
17:00~19:00

・会場：愛知県労働産業センター ウィンクあいち

・テーマ：老年看護研究における実践者と研究者の協働—介護施設での研究実践例から考える—

・定員：60名(定員になり次第、受付終了)

・参加費(当日払い):会員 1,000円, 非会員 3,000円

・申込方法：

学会ホームページより、指定の申込用紙をダウンロードのうえ、FAX(043-226-2448)、または E-mail(houmon-kango@chiba-u.jp)にてお申込みください。

[プログラム]

1) 介護施設において看護研究を実施するための方略—特別養護老人ホームで「より良い看取り」を実施するためのアクションリサーチの経験から—

演者:小山千加代(東京女子医科大学)

2) 介護施設において看護研究を実施する研究者に介護職員から望むこと—特別養護老人ホームの看護管理者が実施したプロジェクト研究に参加した経験から—

演者:春元 光彦(社会福祉法人凌雲堂 特別養護老人ホームしらふじ, 介護主任)

3) 介護施設における看護の専門性確立に向けて現場が求めている研究

演者:小玉 幸佳(特別養護老人ホームくやはら, CNS)

4) 老年看護学研究における実践者と研究者との協働のポイント—介護施設における IPE・IPW を推進した経験から—

演者:大塚真理子(埼玉県立大学)

5) ディスカッション—課題解決のために—

各委員会からのお知らせ

1. 編集委員会

学会誌の編集方針や査読の基準等を示す「編集方針」および、査読者向けの「査読に際してのお願い」を作成するとともに、「査読用紙」をリニューアルしました。

これらは、第19巻1号投稿論文より適用となります。「編集方針」は学会誌および、ホームページに掲載いたしますので、ご覧ください。

今年度は投稿規程の改定、オンライン投稿の開始、編集方針等の作成など、さまざまな変更を行いました。そこで一連の経過を説明し、会員の疑問にお答する機会として、「学会誌編集方針・投稿規程・査読プロセス」をテーマに、第19回学術集会にて交流集会を開催予定です。

2. 研究・教育活動推進委員会

昨年11月に実施した「本学会会員における研究費申請・獲得に関する実態調査」は、配布1,014票、返信312票(回収率30.7%)、有効回答299票でした。後日、ホームページで概要を報告いたします。この結果をふまえ、昨年12月、日本看護系学会協議会からの「科学研究費補助金の細目表」検討依頼に対して、細目「高齢者看護学」のキーワードとして、①認知症看護学、②エンドオブライフケア、③継続・連携看護学、の3つ、「時限つき分科細目表」として、①高齢者・障害者犯罪学、②ソーシャル・クオリティ、の2領域の採用を要請しました。

3. 国際交流委員会

前掲のとおり、海外招聘講演事業を第19回学術集会開催期間中の6月28日に、同会場にて開催します。

4. 老年看護政策検討委員会

2015年診療報酬改定の提案書提出に向けた認知症認定看護師・老人看護専門看護師への業務実態調査を、パイロットテストを経て2月1日より実施しています。

本調査に先立ち「認知症チーム医療に関するシステムティックレビューとメタアナリシス」により、チーム医療のエビデンスの明確化も行いました。詳細は、第19回学術集会にて報告の予定です。

5. 論文表彰選考委員会

今年度よりオンライン審査システムを導入し、審査の効率化を図ります。審査は3月に実施予定です。

6. 生涯学習支援委員会

来年度は、「基礎編」「実践編」に加え、「応用編モデル事業」を開催する予定です。「実践編」では災害支援やエンドオブライフケアに関するプログラムの充実を図ります。「応用編モデル事業」は、認知症ケアの政策に関するテーマで、今年の秋に企画を予定しています。各研修とも日程が決まり次第、メールマガジン、ホームペ

ージにてご案内します。

「基礎編」は、地域ネットワークや評議員の皆さまの協力を得て、全国各地での開催できる仕組みを検討しています。その1つとして、「生涯学習支援研修基礎編を地域で開催しよう」をテーマに、第19回学術集会にて交流集会を開催予定です。

7. 災害支援検討委員会

災害時に活用できる高齢者支援のためのマニュアルづくりを進めています。生涯学習支援委員会と連携し、災害支援研修プログラムの作成にも着手しました。「被災地における連携・協働のとり方を考える—東日本大震災におけるさまざまな職種の活動より—」をテーマに、第19回学術集会にて交流集会を開催予定です。

8. 特別委員会：専門看護師・認定看護師活動推進委員会

組織化の必要性の高い認知症看護認定看護師のネットワーク作りを推進します。名簿作成方法を検討し、認定看護師企画として、第19回学術集会にて交流集会を開催予定です。

事務センターからのお知らせ

1. 年会費納入のお願い

2014年度年会費の請求書を同封いたしますので、5月30日までに、郵便局より振込みをお願いいたします。

2. 住所変更等の届け出のお願い

ご所属、ご自宅住所等の変更につきましては、下記事務センターまで、文書(E-mail, FAX, 郵送等)にてお知らせください。3月・4月は異動の時期になります。お早めにご連絡いただきますよう、お願いいたします。

3. メールマガジン用メールアドレス登録のお願い

本学会では、会員の皆さまへの情報提供をメールマガジンというスタイルで行っております。理事会、各委員会からのご報告、学術集会や研修事業、ワークショップ等のご案内、他学会からの情報等を1~2か月に一度、お届けしております。

現在の加入率は69%です。配信未登録の会員の方は、同封の「メールマガジン登録用紙」(ハガキ)をご記入のうえ個人情報保護シールを貼付し、学会事務センターまで必ずお送りください。

【編集】総務(広報)担当理事:北川公子

【発行】日本老年看護学会事務センター

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-1-1
オザワビル2F

TEL:03-5206-7431 FAX:03-5206-7757

E-mail:rounenkango@nqfm.ftbb.net

URL: <http://www.rounenkango.com/>